

平成18年度 事業評価書

地 域 名	山形県飯豊町	選定年度	H16年度	事業規模	小規模事業
まちづくり協議会名	飯豊町めざみの里協議会				
モデル事業名	地産地消と交流を基本にした、環境にやさしい自立したまちを目指して				

1. 事業の実施状況

委託事業	H16年度	普及啓発事業として、環境シンポジウムを開催したほか、木質ペレットの製造実験などを実施。
	H17年度	普及啓発事業として、新エネルギーや環境教育に係るイベント等を開催した。また、環境共生型産業クラスターの形成について協議した。
	H18年度	普及啓発事業として、新エネルギーや環境教育に係るイベント等を開催した。また、地域内における連帯の環づくりに向けた取組を行った。
交付金事業	H16年度	エコスクール整備事業として、太陽光発電設備、風力・太陽光ハイブリッド発電設備、木質ペレットストーブを設置。 環境共生型モデル住宅整備事業として、太陽光発電設備、木質ペレットボイラー・ストーブ、雪室設備など導入。 木質ペレットストーブ導入事業として、一般家庭・公共施設等へ木質ペレットストーブを設置。
	H17年度	木質ペレットボイラー導入事業として、木質ペレットボイラーを設置。また、一般家庭・公共施設等へ木質ペレットストーブを設置。
	H18年度	冬場の雪を利用した雪室を建設。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>地域の多様な主体の参加による協議会を中心に、森林資源等の地域資源を活用した普及啓発等の様々な取組を熱心に手掛け、地域住民を巻き込む様々な事業展開を考えており、ハードとソフトの連携で相乗効果を上げるねらいがよく生かされている。意識啓発の点で総合的な取組がなされており、小学校など子供を非常にうまく組み込んでいるが、具体的な成果が得られるよう、今後も継続して取り組んでほしい。ひまわりについても、菜の花プロジェクトは各地で行われているが、ひまわりという点で独自性が出ている。</p> <p>環境共生型モデル住宅整備事業や木質ペレットストーブ導入事業など、事後的な検証についてもきめ細かに行われており、他地域の参考となる点で評価できる。今後も、検証結果を活用するとともに、普及啓発事業とも連携して、地域での更なる展開を期待したい。</p> <p>日本の山の再生とエネルギーの自給を目指しつつ、二酸化炭素の削減に貢献する取組であり、地産地消を目指した地方自治体の良きモデルである。</p>		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備 考	
	目 標 値	367.7	H16年度、H17年度事業分
	実 績 値	78.3	H16年度、H17年度整備施設のH18年度稼働実績
	(目標値・実績値単位:t-CO2/年)		
<p>エコスクール整備事業について、二酸化炭素排出削減効果自体はそれほど多くないが、各導入設備は環境教育の教材として活用してほしい。</p> <p>環境共生型モデル住宅整備事業についても削減効果は多くないが、児童生徒や住民の環境負荷低減に活用するなど、地域における新エネ・省エネに係る環境教育の拠点として活用するとともに、導入設備の削減効果の検証を更に進めてほしい。</p> <p>木質ペレットストーブ導入事業では、一般家庭、公共施設など、全町をあげての導入で効果を上げていることを評価する。また、追跡調査として導入事例を場合分けして検証したことは評価でき、今後さらに詳細な検証をすることを望む。</p>			

地 域 名	山形県飯豊町	選定年度	H16年度	事業規模	小規模事業
③経済活性化効果	木質ペレットストーブ導入事業について、各家庭での従前の暖房費用と実際のペレット購入額を比較し、経済的な観点からの検証をすることを望む。ペレットづくりや活用が経済的に回るような、仕組みの創出が必要である。				
④その他	地域資源を活用し、環境と共生する暮らしの意義とその利点を説明できる人材の育成及び適正な設備の管理・継続使用とデータの蓄積を行うことにより、継続的に事業が行われることを期待する。				